

鳥取市まちなか消費リーダーのタイプとニーズ

—まちなかの消費を牽引する人たち—



鳥取市まちなか消費リーダーのタイプとニーズ

—まちなかの消費を牽引する人たち—

2018年1月26日

作成:

矢野 志佳 E-mail:b148162l@biz.kankyo-u.ac.jp

磯野 誠 E-mail:m-isono@kankyo-u.ac.jp

公立鳥取環境大学経営学部 磯野誠研究室

689-1111 鳥取県鳥取市若葉台北1-1-1

電話/FAX/:0857-32-9115

協力:

成清 仁士 E-mail:narikiyo@tottori-machinaka.com

平木 美雪 E-mail:hiragi@tottori-machinaka.com

鳥取市中心市街地活性化協議会

680-0832 鳥取県鳥取市弥生町323-1

パレットとっとり2F 市民交流ホール内

電話:0857-39-0777 FAX:0857-39-1222



公立鳥取環境大学

磯野誠研究室

問題提起:鳥取市まちなかの商店街やお店にとって、お店の成長に繋がる重要な顧客とはどのような人か。Japan-VALSに依拠し、定性調査(グループインタビュー)を行なった。
結論:まちなかにとってのアーリーアダプターで、達成型価値観を持つ人のニーズを満たし、消費してもらうべき。そのニーズは以下の通り。

鳥取市まちなか消費リーダーのタイプとニーズ

(VALSモデル参考)

Japan-VALSとは、ロジャースの普及理論と心理学の類似性理論に基づき、そのライフスタイルを、**価値観**(伝統、達成、自己表現)の軸と、**需要先進性**(新しいものの受け入れの速さ)の軸で、9つに類型化したもの(株式会社ジェーディーエスHP、2017年7月11日)。

アーリーアダプターは消費リーダー。アーリーマジョリティやフォロワーはアーリーアダプターに従い、同様に消費するとされる。従ってまずアーリーアダプターのニーズを満たすものを提供し、彼らに消費してもらうべき。
価値観が達成型な人ははいずれも、まちなかに対して中から高関与でかつポジティブな印象を持っており、商店街や個店にとっては重要なサポーター。
 価値観が自己表現型な人はまちなかに対して中関与でかつネガティブな印象を持ちがち。

主婦タイプ2【まちなか中～高関与ポジティブ】
構造:まちなか付近在住、転勤族、子供あり、カーシェア
意識:外交的、家族最優先、子供の親コミュニティ
まちなか行動:子供との散歩・公園、スーパーで買い物、用事(銀行・市役所)子供の病院、イベント、パン屋など
ニーズ
 ●買い物や用事を一気に済ませたい
 ●家族にとってより良い方法を選択したい
 ・まちなかスーパーの品揃えの改善
 ・空き店舗の清掃や適切な管理

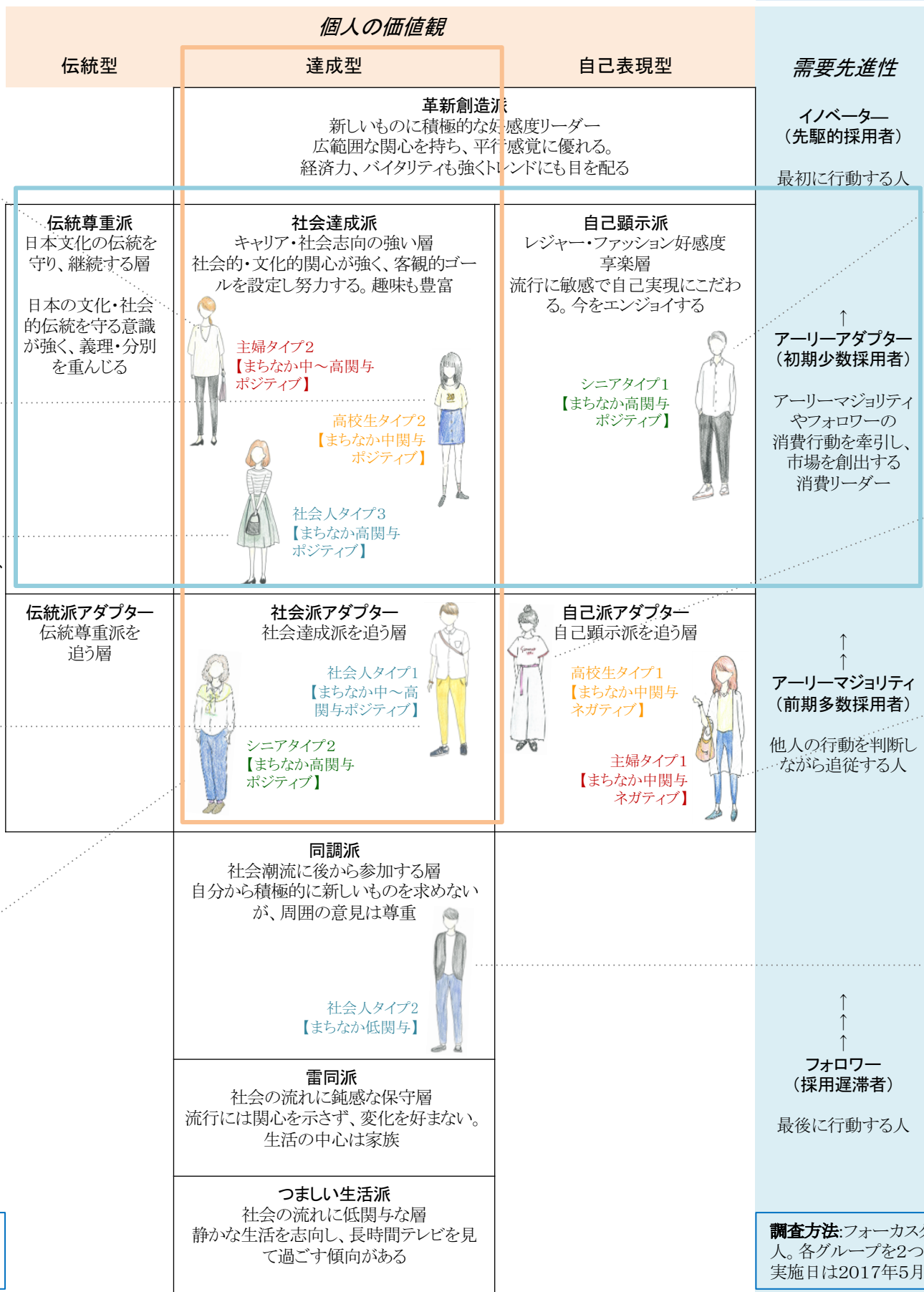
高校生タイプ2【まちなか中関与ポジティブ】
構造:郊外在住、高校2年生、習い事、4人家族(妹がいる)
意識:外交的、家族思い、県内志向、歌うことが好き
まちなか行動:友達とカラオケ・ブライク・カフェ・公園など
 待ち合わせは駅か「イオン」。友達、家族、姉妹で訪れる。友達と来るときは休日に自転車で来て、18時くらいに帰り、所持金はおよそ2000～3000円。
ニーズ
 ●友達と楽しい時間を共有したい
 ・友達に紹介したくなるようなお店
 ・スイーツ系中心のメニューで、友達と気軽に雑談できるお店

社会人タイプ3【まちなか中～高関与ポジティブ】
構造:県内出身、駅北エリアに職場、まちなか付近在住
意識:外交的、落ち着いた性格、日常の一場面を楽しむ
まちなか行動:昼食、飲み会、お茶、喫茶店、カフェ、イベント、「シャミネ」、ちょっとしたギフトを買う時
ニーズ
 ●新しい気づきや、モノに触れたい
 ●本や雑貨など幅広い商品の選択を楽しみたい
 ●まちなか(知らないお店)を開拓したい
 ・ギフト、生活雑貨、本屋+雑貨屋のような複合的なお店

社会人タイプ1【まちなか中～高関与ポジティブ型】
構造:県内出身、まちなかに職場、まちなか付近在住
意識:内向的、ひかえめな性格、物欲があまりない、地元が好き、地域づくりに興味がある
まちなか行動:通勤、仕事時に「くる梨」、用事、昼食、カフェ、本屋、イベント、パン屋
ニーズ
 ●誰かと時間や空間を共有し、穏やかな時間を過ごしたい
 ・「ホンバコ」のような時間を過ごせる場所の増加
 ・他人との適度な距離感

シニアタイプ2【まちなか高関与ポジティブ】
構造:郊外在住、Uターン、車移動
意識:健康志向、穏やかな性格、個性のあるお店を好む
まちなか行動:本屋、カフェ、映画、「お袋市」などにピンポイントで訪れる。まちなかに来るときは車。
ニーズ
 ●その土地や個店自体のオリジナリティを楽しみたい
 ・ここでしか買えないもの
 ・映画や個店(好みのカフェのような)のバリエーション
 ・寛げるスペースや人が集まれる空間
 ・空き店舗やシャッター街の改善(貸出など)
 ・無料駐車(2時間無料)

本調査の詳細については、「まちなか消費リーダーのタイプとニーズ 鳥取市中心市街地商店街に対する消費者ニーズ調査(2017)公立鳥取環境大学磯野誠研究室」を参照のこと。



シニアタイプ1【まちなか高関与ポジティブ】
構造:まちなか付近在住、Uターン、まちなかに職場、車移動
意識:アクティブ、文化的なものに高い関心、音楽イベントに憧れを持つ、雑貨が好き
まちなか行動:飲み、喫茶店、飲食店、本屋、映画館、子供の頃の風景を見て回る。変わりようを見て楽しむ
ニーズ
 ●音楽を披露・表現、文化的なことを通した交流
 ●人との会話を楽しみながら気軽に教養を深めたい
 ・買い物以外での街の賑わい
 ・気軽なギャラリー(展示・発表する機会と場)
 ・自由に使えるスペース(楽器の練習など)
 ・カジュアルに学べる機会や場
 ・本屋

高校生タイプ1【まちなか低～中関与ネガティブ】
構造:郊外在住、高校2年生、部活に所属
意識:ファッションに興味がある、強い都会志向、ここにしかない特別感に気にならない、自分からは友達を誘わない
まちなか行動:友達とカラオケ・映画・カフェ・ブライクなどに、部活終わりの13時半～14時に訪れる。月に一回程度で、カフェにはおよそ1～2時間程度滞在する。
ニーズ
 ●流行のファッションを楽しみ都会的な生活を送りたい
 ・お店(都会的な)の増加や遊ぶ場所(「ラウンドワン」など)
 ・シャッター街の改善
 ・コンサートや野外ライブ

主婦タイプ1【まちなか中関与ネガティブ】
構造:郊外在住、転勤族、子供あり、子供は県庁近くの保育園
意識:外交的、効率、子供最優先、節約志向
まちなか行動:幼稚園の送り迎えと用事が基本。子供と公園、散歩、映画、ランチ、イベント、パン屋、「大丸」の物産展など
ニーズ
 ●子供と大人の両者が満足できる楽しい時間を過ごしたい
 ・無料駐車場(せめて2時間無料)
 ・子供連れで行けるお店
 ・親子が楽しめる所
 ・美味しいお店
 ・良い接客

社会人タイプ2【まちなか低関与】
構造:郊外在住、県内出身、駅南エリアに職場
意識:内向的で素直、まちなかには基本興味が薄い、生活上特に不満が無い。
まちなか行動:ほとんど飲み(週に2～3回)で訪れ、行くお店は大体決まっている。喫茶店、友達が遊びに来たとき、花見(イベント)など
ニーズ
 ●昼食の選択肢を増やしたい
 ・弁当屋(昼食に困った時)

調査方法:フォーカスグループインタビュー法。インタビューは①主婦②シニア③高校生④社会人。各グループを2つのサブグループに分け、インタビュー2～4人を1グループとした。実施日は2017年5月11・18日の2日間。インタビュー時間は1グループ1.5時間。